

大人の英会話倶楽部

# おとなの入門英語 会話集(Otonyu dialog\_A)



おとなの入門英語会話集 A (Otonyu dialog\_A)

- Dialog 1 ~ Dialog 10

## 【Dialog 1】初めて会って

A: Hello. Are you Mr. Yoshida?

B: Yes, I am. And **this is** my friend Kenji. (point 1)

A: I'm Becky **at** ABC Tour. Nice to meet you. (point 2)

B: Nice to meet you, too.

A: Are you from Tokyo?

B: No. We are from Osaka.

A: Is this your first time to New York?

B: Yes. I'm **so excited**. (point 3)

A: Are you two in **the same** company? (point 4)

B: No, we are from different companies. He is my old friend.

A: Now, **shall we start?** First, we are going to the Statue of liberty. Here we go. (point 5)

A: こんにちは。吉田さんですか。

B: はいそうです。そしてこの人は友達の健二です。

A: 私は ABC Tour のベッキーです。初めまして。

B: よろしくお願ひします。

A: 東京からですか。

B: いいえ、大阪です。

A: ニューヨークは初めてですか。

B: はい。とてもワクワクしています。

A: お二人は同じ会社ですか。

B: いいえ、違う会社です。彼は昔からの友達です。

A: 先ずは自由の女神に行きます。はい、さあ行きましょう。

### POINT

(Point 1) 近くにいる人を「こちらは～」と紹介するとき、**This is** を使います。(電話と同じです)

(Point 2) 【前置詞】 **at** は「～での」と一点の場所のイメージ。「～も」と同じことを言うとき **too** をつけます。別れ際に相手が **Take care.** (気をつけて) と言ってくれたら、**You, too.** 「あなたも」と返しましょう。

(Point 3) **I'm exciting.** には行けません。**Excited** の意味は「興奮させられている状態」です。  
**The game was exciting.** なら OK。

(Point 4) 【冠詞】「同じ～」には「その同じ物なので」いつも **the same** を使います。

(Point 5) 【助動詞】 **Shall we start?** は **Let's start.** でも大丈夫です。【前置詞】この場合の **for** は「～に向かって」の使い方です。

## 【Dialog 2】・・・ 写真を見て

A: Is this woman your **older sister**? (point 1)

B: Yes, she is. And next to her is her husband.

A: He is very cool!

B: Thank you. They are in Tokyo now.

A: Really? Actually, I **was born** in Tokyo. (point 2)

B: Oh, I didn't know that.

A: I lived in Shinagawa until I **graduated from** high school. (point 3)

B: What a coincidence! They are also **in** Shinagawa. (point 4)

A: The location of Shinagawa is **perfect**. (point 5)

B: I think so, too.

A: My high school was **in** Sibuya, but it was so convenient. (point 6)

B: As for me, Shinagawa is really a convenient place, **because** I can sometimes visit my sister. (point 7)

A:この女の人はあなたのお姉さんですか。

B:ええ、そうですよ。そして隣の人は夫です。

A:とってもカッコいいかたですね。

B:ありがとう。彼らは今東京にいます。

A:本当ですか。実は私は東京生まれです。

B:それは初めて知りました。

A:高校卒業まで品川に住んでいましたよ。

B:なんて偶然なのでしょう。彼らも品川です。

A:品川のロケーションは最高ですね。

B:私もそう思います。

A:私の高校は渋谷にあったのですが、とても便利でした。

B:私にとっても品川はとても便利です。時々姉のところに訪れていますから。

(point 1) 【比較】 old sister としてしまうと「年いったお姉さん」になってしまいます。 妹さんなら younger sister です。

(point 2) 【受動態】 born は「実を結ぶ」 bear-bore-born の過去分詞です。受け身で「実を結ばれた」という意味です。

(point 3) 【過去形】 graduate from で「～から卒業する」です。

【前置詞】 until は「～までずっと」の意味で「継続」。by は「～までに」で「期限」を表します。I'll sleep until 10. 「10時まで寝よう」と I'll finish by 10. 「10時までに終わるよ」の違いに注目。

(point 4) 【感嘆文】 incident は「事件」、incidence は「発生」 co は「共通の」という意味で、coincidence で偶然です！

(point 5) Perfect の他に great (すごい) , wonderful (素晴らしい) , excellent (優秀) , super (最高) , fantastic (素敵な) , terrific (ものすごい) , marvelous (すばらしい) , amazing (驚くべき) , splendid (素晴らしい、豪華な) , gorgeous (きらびやかな) などいろいろ使ってみましょう。

(point 6) 【過去形の文】「私の高校=in 渋谷だった」と捉えて下さい。

(point 7) 【接続詞】 Because: 軽く「～なので」と使うことが多いです。

### 【Dialog 3】・・・ファーストフード店で

A: Are you ready to order, sir?

B: Yes. I'll have three scrambled eggs with ham, toast and jam, please.(point 1)

A: What would you like to drink? (point2)

B: I'll have tomato juice. (point3)

A: Large or small?

B: Large, please.

A: Anything else? (point4)

B: That's it.

A: For here or to go?

B: For here.

A: Your total comes to \$5, please. (point5)

A:ご注文をお聞きしてもいいですか。

B:はい。スクランブルエッグ3つとジャムをつけてパンをお願いします。

A:お飲み物はいかがですか

B:トマトジュースを。

A:LですかSですか。

B:Lサイズをお願いします。

A:他には？

B:これで

A:ここで食べられますかお持ち帰りですか。

B:ここで食べます。

A:5ドルになります。

(point 1) 【未来形】今決めた感じで「～をもらいます」。あらかじめ決まっている予定を言う時は We are going to visit Tokyo tomorrow.が良いです。

(point 2) 【助動詞】What do you like to drink? の丁寧表現です。

(point 3) I'd like tomato juice. でも OK です

(point 4) 丁寧に言うと Would you like anything else?です。

(point 5) That'll be \$5, please.でも OK です。

## 【Dialog 4】・・・ お住まいは？

A: **Where do you live?** (point 1)

B: I live in Hokkaido.

A: **Where in Hokkaido do you live?** (point 2)

B: In Sapporo. It's famous for the Snow Festival.

A: Does **it** snow a lot? (point 3)

B: Yes, especially in February.

A: When is the Snow Festival usually **held?** (point 4)

B: It is held at the beginning of February. It's very beautiful.

A: I often see it on TV. **I'd like to** visit once. (point 5)

B: I heard it will be opened on February 5th. If you come, let me show you around.

A: **That's so kind of you.** (point 6)

B: My pleasure.

A: あなたはどこにお住まいですか。

B: 私は北海道に住んでいます。

A: 北海道のどちらですか。

B: 札幌です。雪まつりで有名です。

A: 雪はたくさん降りますか。

B: はい、特に2月は多いです。

A: 雪まつりは大抵いつ開かれていますか？

B: 毎年2月の初めに開催されます。きれいですよ。

A: テレビでよく見ます。是非一度行きたいです。

B: 今年は2月5日がオープンするそうです。もし来られるなら、案内させていただきます。

A: ご親切にありがとうございます。

B: いえいえ。(私の喜び)

(point 1) 普通の疑問文と疑問詞を使った疑問文の作り方に慣れることが非常に大切です。

(point 2) 【疑問詞】

(point 3) この場合の **it** お天気は雨ふりと考えてください。

(point 4) 【受動態】 **hold** は「握る」という意味です。よく歌われる **Hold me tight.** は「強く抱きしめて」です。会議、催し等を握るから「開催する」。2月の中旬になら **in the middle of February**、2月の下旬になら **at the end of February** です。

(point 5) 【助動詞】 **I'd like to** ～の表現は **I would like to** ～の短縮形で「ぜひ～したいです。」という丁寧な表現です。

(point 6) **You are so kind.** は文字通り「あなたは優しい人ですね」。 **That's so kind of you.** は「そうしてくださるなんて、お優しい方ですね」という表現です。

## 【Dialog 5】・・・お仕事は？

A: **What do you do**, Mr. Miller? (point 1)

B: I'm a teacher at ABC High School.

A: What do you teach?

B: I teach English and Art.

A: About how many hours do you teach a day?

B: Well, three hours or so.

A: Where are you from?

B: I'm from Canada.

A: How long **have you been in** Japan? (point 2)

B: Well, I came here in April, so it's been 3 months.

A: Is **it** your first time to teach in Japan? (point 3)

B: I **was teaching** English in Sendai 2 years ago. (point 4)

A: **That's** why you are good at Japanese. (point 5)

B: **Thank you**. But, not so good. (point 6)

A: ミラーさん、お仕事は何をされていますか。

B: 私はABC高校の先生です。

A: 何を教えていらっしゃいますか。

B: 英語と美術を教えていますよ。

A: 一日に何時間くらい教えられているのですか。

B: えーと、3時間くらいです。

A: ご出身はどちらですか。

B: カナダから来ています。

A: 日本にどのくらいいらっしゃるのですか？

B: えーと、4月に来ましたから、3ヶ月になります。

A: 日本で教えるのは初めてですか？

B: 2年前に仙台で英語を教えていました。

A: どおりで日本語がお上手だと思いました。

B: ありがとう。でもそんなに上手くありません

(point 1) 【現在形と現在進行形】 What are you doing?は「今何をしていますか」ですが、What do you do? は現在形で習慣を表すので「いつも何をしていますか」と仕事を尋ねる表現です。Who are you? と聞けば「あなたは誰」ですが What are you?は「仕事は何ですか」の意味になります。

(point 2) 【現在完了形 継続】 ずっと～しているの表現です。

(point 3) Is teaching in Japan your first time?でも同じ意味です。

(point 4) 【過去進行形】

(point 5) that は遠くのことを指して「あれは」という場合と「あなたが言ったその話は」と文を指す使い方があります。

(point 6) 「そのとおり」という時は That's right. (その話は正しい) と表現します。



## 【Dialog 6】・・・お仕事は？

A: Where do you work?

B: I work part-time at a restaurant.

A: How many hours do you work **a day**? (point 1)

B: About 5 hours at night.

A: **What kind of** job is it? (point 2)

B: Oh, I work as a waiter.

A: So you **must be** very busy, right? (point 3)

B: Yeah, exactly.

A: When is **the busiest day** of the week? (point 4)

B: Naturally, Saturday night is!

A: Where is the restaurant?

B: It's about **a 3-minute walk** from Meguro Subway Station. (point 5)

A:あなたはどこで働いているの？

B:私はレストランで働いています。

A:1日どれくらい働いていますか。

B:夜に5時間ほどです。

A:どんな仕事ですか。

B:ウェイトーの仕事です。

A:じゃあ、忙しいですね

B:ええ、まさに。

A:一番忙しい曜日はいつですか。

B:当然、土曜の夜ですね。

A:そのレストランはどこにあるの。

B:地下鉄目黒駅から歩いて3分くらいです。

(point 1) a day は「一日につき」の意味で、per day でも OK です。週2回なら twice a week。月3回なら three times a month です。3か月に2回なら twice in three months のように表現します。

(point 2) What kind of ～は詳しく尋ねる時の決まり文句です。答えるときにも「まあ一種の伝統行事です」なら a kind of traditional event、「多くの種類の料理」many kinds of dishes のように使います。

(point 3) 【助動詞】 must be～ で「～に違いない」です。

(point 4) 【比較】 busy の最上級で the busiest になります。

(point 5) 10-year-old girl という風にハイフンでつないで単語を作るときは複数形にはしません。タクシーで5分なら、5-minute taxi ride と表現できます。歩いて3分かかりますは It takes 3 minutes by walk でも可です。

## 【Dialog 7】・・・ お買い物

A: **May I help you?** (point1)

B: Yes. Do you have picture post cards?

A: Yes. This way, please.

B: Thanks. **I'll take** these. These will be a gift for my friend, so please put a ribbon on them. (point2)

A: Should I **put** them in a gift box? (point3)

B: Yes, please. Please put a pink ribbon on that blue box.

A: Sure. That'll be 12 dollars.

B: OK. Here you are.

A:いらっしやいませ。

B:はい。絵葉書は置いていますか。

A:はい。こちらへどうぞ。

B:ありがとう。これ、もらいます。友人へのプレゼントなのでリボンをつけてください。

A:ギフト箱には入れますか？

B:はい、お願いします。そのブルーの箱にピンクのリボンをかけてください。

A:承知しました。12ドルになります。

B:はい、どうぞ。

(point 1) How may I help you? も同じく店員さんの言葉です

(point 2) 【未来形】I'll take～. はお買い物の決まり文句ですが、一個の物を買うときは I'll take this. 複数の物を買うときは I'll take these. になることに注意してください

(point 3) 【前置詞】英語で put と take は逆の動作で使用頻度が高いので是非工夫して使えるようになりましょう。例えば「靴を履く」put on the shoes⇔「靴を脱ぐ」take off the shoes. 「それをあのテーブルに置いて」なら put it on that table 「取って」なら take it off the table 「この箱に入れて」なら put it into this box 「この箱から取り出して」なら take it out of this table です。

## 【Dialog 8】・・・ お休みは？

A: **What do you usually do** on your day off? (point1)

B: Nothing much. I sleep until about 11. How about you?

A: I clean my house in the morning and sometimes eat out for lunch with my family.

B: **By the way**, what are your plans for tomorrow? (point2)

A: I have **no plans** all afternoon. Why? (point3)

B: Do you want to have dinner with me?

A: Sure.

B: What time **would** be most convenient? (point4)

A: Any time after six would be all right.

A:お休みの日はたいてい何をしていますか。

B:特にないけど。11時ころまで寝ています。あなたは？

A:朝はお掃除して、お昼は時々家族と外食します。

B:ところで、明日の予定はそうになっている？

A:午後はずーと空いているけど、何故？

B:一緒に夕食でもどう？

A:もちろん

B:何時が都合いい

A:6時以降なら何時でもいいですよ。

(point 1) 【一般動詞・現在形】 現在形によく使われる時の表現 いつもの習慣の表現には現在形を使って下さい。「今、何をしているの」が **What are you doing now?** です。

(point 2) 話題を変える時に。他に簡単に「さて・・・」 **Now,・・・ Well,・・・**と話をつなぎましょう。

(point 3) 【There is～、There are～】 **some** と **any** の使い方。 **I don't have any plans** でもOKです。

(point 4) 【助動詞】 未来形なので **What time will be most convenient?**でも良いのですが、確定していないことを推量で話す時は「何時がいいかな～？」という意味合いで **would** を使います。

例えば **He will come.**なら「彼は絶対来ます」 **He would come** なら「彼はきっと来るかな」といったニュアンスになります。

## 【Dialog 9】・・・昨日は？

A: I called you yesterday, but you weren't home.

B: Oh, I'm sorry. I was out shopping with my family.

A: Did you buy something for yourself?

B: Yeah, I bought this cute new dress.

A: **What a charming dress.** It **looks** nice on you. . (point1)

B: Thanks. I like this color very much.

A: You certainly look nice in green. You have good taste in clothes.

B: Thank you for your compliment.

A:昨日電話したけどいなかったね。

B:あっ、ごめんなさい。家族で買い物に出かけていました。

A:何か自分の物、買った？

B:うん。新しい可愛いドレスを買った。

A:すてきなドレスね。似合っているわ。

B:ありがとう。私この色がとても好きなの。

A:あなたはグリーンがほんとに似合うわね。服のセンスがいいわ。

B:褒めてくれてありがとう。

(point 1) 【感嘆文】「なんてオシャレなくつなの！」なら複数形なので a はつけないで What fashionable shoes!です。

「～を見る」時は look at. 「～を探す」時は look for. look だけなら「見える」と覚えましょう。

It looks nice.は It is nice.と同じ文でA=Bの文です。

例えばレストランに行ってステーキを注文した時、「おいしそう」の表現もジューとおいしそうな音が聞こえてきたら It sounds good. 実際にステーキを見た時は It looks good. いい匂いの時は It smells good. 実際に食べておいしいときは It tastes good. Looks nice. Tastes good. Feels good. という風に it を言わない事も多いです。

## 【Dialog 10】・・・ 郵便局で

A: I'd like to send these post cards to Japan.

B: How many do you have?

A: Let me see, I have 8.

B: Is airmail **fine**? (point1)

A: No, please send them by sea. I am actually sending them to myself. It is something I **look forward to** when I get home to Japan. (point2)

B: That'll be 8 dollars and 40 cents.

A: About how many days **would** it **take** for them to arrive in Japan? (point3)

B: It would take about a month. Have a fun trip.

A:これらの絵葉書を日本に送りたいです。

B:何枚ありますか。

A:えーと、8枚です。

B:航空便でいいですね？

A:いえ、船便にしてください。実は私自身に送るのです。日本に帰国した時の愉みなので

B:全部で8\$ 40¢になります。

A:だいたい何日で日本に届きますか？

B:1か月くらいかかります。旅行、楽しんでくださいね。

(point 1) **fine** は How are you? の質問に「元気です」の答えとして覚えておられる方が多いと思いますが、実は **fine** は型通りの儀礼的な感じの時にだけ使います。普通は **Great. Pretty good** などが良く使われます。**fine** のもう一つの意味は「都合が良い」とか「かまわない、それでいいよ」といったニュアンスで積極的な **Yes** ではない感じですが。相手の提案に対して「私はそれでいいです」と言いたい時は **That's fine with me.**になります。

(point 2) **ward** は「～の方へ」という方向を表します。「後ろへ」なら **backward** 「右の方へ」なら **rightward** 「下の方へ」なら **downward** 。ですから **look forward to** は～ 「～へ前の方を見る」ということで「～を楽しみにしている」という意味です。初めて人とあう際のメールには **I look forward to seeing you.**と添えておきましょう。**something big** なら「大きな何か」ですし、**something I look forward to** で「私が楽しみにしている何か」という意味です。

(point 3) **take** は「取る」という意味ですが、私の時間を取っていくので「時間がかかる」ときに使います。「ここから駅までどのくらい」と距離を聞く時は、**How far is it from here to the station?** と距離は不変なので **be** 動詞を使いますが、「駅まで歩いていくにはどのくらいかかりますか」と時間を尋ねる時は、人によってまちまちなので「かかる」**take** を使って **How long does it take to walk to the station?**と聞きます。答えも **It takes about 10 minutes.** になります。またここでも **will** でもいいのですが、確定的でないので **would** を使っています。